



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

安倍政権が築いたもの、菅新政権で更なる躍進へ



▼安倍総理の首相官邸退任に立会い、お見送りをする秋葉総理補佐官。「お疲れ様でした。そして、有難うございました」とお声掛けしました。



安倍総理退任
ライブ放送配信中

この度、菅内閣発足に伴い、首相補佐官を辞することとなりました。この1年間、安倍総理の補佐官として、全世代型社会保障や少子高齢化対策、地方創生の担務に日々全力で取り組みました。最後に、総理から、「本当に良い仕事をしていただきました」と大変温かいお言葉を賜りました。

私の成果のひとつ「ふるさとづくり事例集」は、単なる優良事例の紹介に留まらず、全団体の紆余曲折の過程をまとめ、地域活性化に取り組む方々の課題解決のヒントになり得る大変良く工夫された事例集であり、首相官邸HPで「ふるさとづくり事例集」で検索いただけますとPDFファイルで今でもご覧いただけます。

また、全世代型社会保障改革では、私の下に「全世代型社会保障に関する広報の在り方会議」を設置し、制度を知らないことで不利益を被ることがないように、コミュニケーション型広報への転換を報告書に取りまとめて、総理をはじめ関係大臣に提言し、一部はすでに実行されています。

振り返れば8年前、民主党から政権を奪還し、第2次安倍内閣が発足しました。私も、厚生労働副大臣および復興副大臣に任命され、皆様に分かりやすく政策を伝えるため、省内初の副大臣定期会見を主催するなど政権の一員として尽力してきました。コロナ禍前の経済では、デフレ脱却・経済再生に向けたアベノミクスの強力な推進により、過去最高の企業収益、過去最高水準の有効求人倍率を記録する等、経済・雇用は大きく改善しました。

何よりも地球儀を俯瞰する外交を掲げて、延べ176の国・地域を訪問し、各国首脳との関係構築に尽くした実績は特筆に値します。オバマ前大統領の広島訪問の実現やトランプ大統領との蜜月関係など日米同盟を強固なものとする等、歴代総理大臣の中でも、断トツの外交を展開し、安倍総理が提唱した「自由で開かれたインド太平洋」構想は今や世界標準になりました。

こうした安倍政権が築いた路線をしっかりと継承しつつ、更なる前進を図るとの基本方針を掲げ、菅内閣が誕生しました。菅総理は、同じ東北、秋田の農家出身で市議会議員を経て国会議員になりました。地縁、血縁のない「地方からの叩き上げ」であり、私に共通する部分が多く大変尊敬しています。官房長官時代には、インバウンド需要の創出、ふるさと納税の拡充等の地方創生、携帯料金の値下げ等の公共電波改革、災害に備えたダムの事前放流の仕組み等、様々な取組でリーダーシップを取り、安倍内閣を支えました。その堅実な手腕は本物です。

菅内閣が取り組むべき最優先の課題は、新型コロナウイルス対策です。社会経済活動との両立を図るため、予備費も活用しながら躊躇ない対策を講じていく必要があります。私も全身全霊で取り組む覚悟です。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます!

衆議院議員 秋葉賢也

首相官邸ホームページ



経済産業省ホームページ



新型コロナウイルス関連支援策の詳細は、首相官邸や経済産業省などのホームページでご覧いただけます ↑

秋葉首相補佐官 (少子化・ふるさとづくり担当)

島根県雲南市を視察 (ふるさとづくり団体との意見交換、現地視察)

秋葉首相補佐官は、「ふるさとづくり」に取り組む現場の声を直接伺う目的で、島根県雲南市を訪問致しました。

雲南市長との
意見交換

づくりを進めてきました。

懇談では、速水雲南市長より、雲南市の取組についての紹介や地域づくりに込めた想いをお話し頂く一方、秋葉首相補佐官からは、『ふるさとづくり事例集』のとりまとめにおいて、雲南市を拠点として活動するNPO法人「おっちらボ」の取組を取り上げていること、今回の視察で雲南市におけるふるさとづくりに資する独自の取組みについて学ばせて頂きたいとの言及がありました。



▲速水雲南市長に、『ふるさとづくり事例集』の手交を行う秋葉首相補佐官。

NPO法人
『おっちらボ』
を視察

雲南市は、市民全員で支え合う魅力あるまちづくりを目指す一環で、若手の課題解決人材を育成する「幸雲南塾」を平成23年に開講。「おっちらボ」は、この「幸雲南塾」卒業生の相互フォロー・ネットワーク化を図る場として、平成25年に設立され、平成26年には、地域で若者のチャレンジを支援する中間支援組織として、NPO法人化しました。

「おっちらボ」の活動拠点である「三日市ラボ」は、空き家をリノベーションしたコワーキングスペース・シェアオフィスです。今回の視察では、この三日市ラボにて、未来をつくる意志と力を育む「子どもチャレンジ」、地域と自分の未来を切り拓く「若者チャレンジ」、地域と共に社会課題に挑む、素晴らしい「企業チャレンジ」について、ご説明頂きました。



▶小俣代表に、「ふるさとづくり事例集」を手交する秋葉首相補佐官

◀『おっちらボ』の皆さんと意見交換

みとや世代間交流施設
『ほほ笑み』を訪問

拠点として、平成27年に開設された施設です。

地域自主組織「三刀屋地区まちづくり協議会」を含む異業種の二者が共同運営しており、1階の共同スペースは地域住民の交流や中学生・高校生の学習の場等として活用されていました。



▲今後の施設活用構想についてご説明を伺う秋葉首相補佐官

Community Nurse Company 株式会社
と意見交換

「コミュニティナース」とは、職業や資格ではなく実践のあり方であり、「コミュニティナーシング」という看護の実践からヒントを得たコンセプトです。地域の人々の暮らしの身近な存在として、「毎日の嬉しいや楽しい」を一緒に作り、「心と身体の健康と安心」を実現する存在です。

Community Nurse Company株式会社は、雲南市に本社があり、コミュニティナースの普及を行うことにより、まちや日常の暮らしのなかで誰もが誰かの心と身体の健康を応援できる社会を目指しており、様々な人が「元気になるおせっかい」を学ぶ合う拠点でもある雲南ラーニングセンター「みんなのお家」の運営を行っておりました。

▶『みんなのお家』では、子育て世帯の皆さんと意見交換致しました。



◀『Community Nurse Company株式会社』矢田代表取締役よりご説明を伺う、秋葉首相補佐官。

秋葉(前)総理補佐官に聞く!



新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン開発の現状

Q 新型コロナウイルス感染症対策のため、研究開発への政府の支援はどのように進んでいますか?

A 私が首相補佐官在任中に(令和2年8月時点)、「新型コロナウイルス感染症対策に係る研究開発等」(健康・医療戦略関係)に**合計1444億円**を充てて、以下のように、多角的に支援する仕組みを構築し、着実に実施して参ります。

- 1 治療法開発** レムデシビル、ファビピラビル等既存薬を用いた治療薬の効果と完全性の検討、新たな作用機能による治療薬開発等
- 2 ワクチン開発** 組み換えたんぱくワクチンや核酸ワクチン等の新規ワクチン開発、基礎・非臨床・臨床試験の平行実施や専門業者・専門人材の活用によるワクチン開発の加速化
- 3 診断法開発** PCR法、LAMP法等遺伝子増幅検査法の開発や、イムノクロマト(抗原・抗体)の開発等
- 4 機器、システム開発** 体外式膜人工肺(ECMO)の開発、感染者等の遠隔モニタリングシステム開発、ワクチン開発等に係るデータ連携基盤の構築等
- 5 基盤技術開発** 海外検体等を活用した地域横断的な研究、新興感染症の研究開発に係る新規技術基盤の開発等
- 6 環境整備** 感染症研究所の検査体制強化、創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業による創薬支援機能の強化等
- 7 国際関連** アジア地域における臨床研究・治験ネットワークの構築、国際機関への拠出

新型コロナウイルス感染症対策 ワクチン開発現場を視察

政府では、**来年前半までに、全国民に提供できる数量を確保することを目指し、安全性・有効性が認められるものは、国産、外国産の別を問わずに、供給契約の締結を順次進めています**

9月、秋葉首相補佐官は、国内の大手製薬会社(A社)の工場を訪問し、独自の技術を用いワクチン開発を進めている現場を視察し、関係者の皆さんと意見交換させていただきました。

安全性・有効性を確実にすることを第一にしながら、ニーズをいち早く把握しワクチンの上市にチャレンジする製薬企業の皆さんを、政府一丸で、財政・制度面からサポートして参ります。



10月1日より
全国規模で実施!

Go To トラベル キャンペーン

10月1日より東京都発着分を含む全国レベルでの「Go To トラベル キャンペーン」が実施されます。「Go To トラベル キャンペーン」は、宿泊を伴う旅行や日帰り旅行等、旅行代金の最大50%を国が補助する観光支援策です。

9月15日から始まっています!【トラベル仙台キャンペーン】(来年3月31日迄)

東北6県にお住まいの皆さんに限定した「トラベル仙台 キャンペーン」が、9月15日にスタート! キャンペーンには、次のような特典があります!

- ① 宿泊料金を、最大5000円割引で利用できます。
- ② 仙台の名物料理等のサービス付きの宿泊プランについても、最大5000円割引でご利用頂けます。
- ③ 仙台市内の観光施設入場券付き宿泊プランについても、最大5000円割引でご利用頂けます。
- ④ 旅先の飲食やお土産店などで利用できる旅行代金の15%相当の地域共通クーポン(上限:1人当たり6000円分、日帰り1人3000円)を利用できます。

各プランの販売数に限定がありますので、お早目に各施設にお問合せ下さい。

【お問合せ窓口】トラベル仙台キャンペーン・コールセンター TEL 022-797-9590 (平日9:00~17:00)

Go To Eat キャンペーン

感染予防対策に取り組みながら営業している飲食店の皆さんや、食材を供給する農林業者の皆さんを支援するための国の取組みですが、キャンペーンを利用して下さる皆さんの協力が必要です。是非、地元・仙台の飲食店、農林業者の皆さんを支えるために、ご協力・ご活用下さい!

現在、政府が決定した飲食店で使えるプレミアム付食事券利用のポイントは、次の通りです。

- ① プレミアム付食事券の販売額の25%を国が負担!
- ② プレミアム付食事券でお支払いの場合、おつりは出ません。
- ③ プレミアム付食事券には購入制限があります。
1回のご購入では、最大2万円まで。
- ④ 販売期間は、2021年1月末まで。有効期限は、2021年3月末まで。

【お問合せ窓口】Go To Eat キャンペーン・コールセンター TEL 0570-029-200 (毎日10:00~17:00)

現地現場主義

秋葉代議士は初当選以来、金帰月来《金曜夜に仙台に帰り、月曜朝駅頭演説をし夜に東京に戻る》を続けています！

ふるさと対話集会開催！



稲田朋美代議士をお迎えして、泉区・宮城野区・若林区の3カ所で開催しました。コロナ禍のなかご参加頂き、様々なご意見を賜りました。皆さん本当にありがとうございました。

慶長遣欧使節帰国400年記念レセプション



伊達家18代当主をはじめ支倉家第14代当主も参加され大変意義深い集いとなりました。使節団派遣は3つの点で画期的でした。

▲支倉正隆氏と

- ① 400年も前に日本人が初めてヨーロッパに赴いて外交交渉した。
- ② 東日本大震災と同等規模の慶長三陸地震からわずか2年後に出帆した。
- ③ 訪欧わずか7年の間に築いた縁が今も続いている。

出来立てパンをいただきました！



元楽天投手で日本一メンバーの長谷部康平さんが先月オープンした「ラ・パン」の工場を訪問。朝4時から1日500斤焼き上げ連日完売するほどの人気です。出来たてを試食しましたがホントに美味しいクリーミー生食パンでした。お店は仙台駅東口から徒歩4分！

タウンミーティング

(国政報告会)

- 10月23日(金) 19:00** **若林区** 六郷市民センター (今泉1-3-19)
- 10月24日(土) 19:00** **泉区** 実沢コミュニティセンター (実沢字一本橋1-28)
- 10月31日(土) 19:00** **宮城野区** 高砂市民センター (高砂1-24-9)

※詳細は秋葉賢也ホームページでご確認ください。開催の際は、仙台市のガイドラインに従い、感染予防対策等に留意して行って参ります。

宮城県動物愛護センター視察



センターは狂犬病予防対策の確立及び動物愛護思想の普及啓発を図る施設として設置され、様々な動物愛護事業のほか、東日本大震災では被災動物の保護活動にも取り組まれました。また代議士は去年6月には衆議院環境委員長として動物愛護法の改正を実現いたしました。

内ヶ崎酒造店を訪問

1661年創業の宮城県内最古の蔵元、内ヶ崎社長からコロナ禍の影響など現状と課題を伺いました。



～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- (助)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、衆議院環境委員長などを務める。現在、衆議院議員(6期目)、内閣総理大臣補佐官を務める。
- 母校の中央大学商議員や保護司のほか、東北医科薬科大学講師、宮城大学講師、仙台青葉学院短期大学講師なども務める。



秋葉賢也
事務所
www.akiba21.net

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477 Fax 022(375)0057
購読料 年額10,000円 編集 (株)アクトジャパン